

シーケンシャルモードはLEDが流れるように順次発光していくパターン。7つのセグメントを光が徐々に埋めていく様は未来的である。付属のスイッチで全点灯と消灯を繰り返す通常点滅モードに切り替えも可能だ。

▲ Turn on a light Pattern

ア ベストが新たに開発した純正交換タイプのドアミラー用LEDレンズ、ヴァーティカルアローシリーズ。その最大の特徴は、シーケンシャルモードと名付けられた、LEDが流れるように発光する斬新な機能を搭載したことだ。

「先日、アウディの流れるウインカーが正式に認可されたことで、今後は純正でも光を流すのが主流になると思います。それをいち早くドレスアップパーツに取り入れたのが、このアイテムです」と、堀池さん。

セグメントと呼ばれる7つに仕切られた発光部は、ウインカーオンで内から外へと点灯。単純に流れるのではなく、積み重なるように光る様は、メカニカルな雰囲気新鮮だ。

各セグメントは立体的な3D発光面で造形されており、従来のリフレクターやチューブ式にありがちな昼間の視認性の悪さを解消。一番外側のセグメントには後方視認ランプも搭載するなど、ウインカー本来の機能・安全性にもこだわっている。

また、ポジションランプやデイライトとして活用可能なオプションランプ、高輝度SMDチップによるフットランプも内蔵と、多機能である点も見逃せないポイントだ。

「対応車種は今のところ200系のクラウンとマジエスタ、130マークXですが、発売以降は順次拡大していく予定です。正式発売は来年一月を予定していますが、初回ロットの250台限定で現在予約受付中です。是非、お問い合わせください。」

Vertical Arrow series

シーケンシャルウインカー搭載の最先端モデル

ヴァーティカルアローシリーズ

アベスト tel.053-414-5416 <http://avestparts.jp>

光モノアイテムを多数手掛けるアベストが、新たな純正交換タイプのLEDドアウインカーミラーレンズを開発。それがヴァーティカルアローシリーズで、積み重なるように流れるLEDの光は今までにない新しさ。来年一月の発売を予定するこの次世代のLEDドアミラーウインカーレンズの実力を、いち早くご紹介しよう。

文 ● 平野 果菜 Kana Hirano
写真 ● 本間 章悟 Shogo Homma

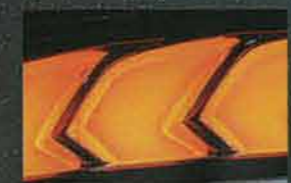


▼ Vertical Arrow series



◆価格 : 1万9440円
◆対応車種 : 200クラウン&マジエスタ、130マークX
※サイドカメラ装着車は要問い合わせ。

矢のように流れる美しき光の波
まったく新しいLEDウインカー



名前の由来でもある矢のような形状のセグメント(発光部)。角を落とした立体仕上げで、ムラのない発光を実現。各セグメントは高級感溢れるメッキで区切られ、消灯時の見た目もハイクオリティ。



セグメントの最後部(外側)には、後方視認ランプを搭載。増じやかなカットを施されたレンズには、3発の高輝度LEDを内蔵。後続車に対して、確実に方向指示を知らせてくれる安全装備である。



ホワイト
ブルー

5発のSMDチップによるフットランプは、エンジンオフまたはキー解除時に点灯。乗降時の足元を照らすおもてなし装備。接続する配線次第でポジションや常時灯として光らせられるオプションランプは、色をホワイトかブルーから選択可能。